

関係各位

一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会  
第 12 回フォーラム「協賛」についてのお願い

謹啓 貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より偽造医薬品対策に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

医薬品セキュリティ研究会フォーラムは、本年（2024 年）の開催をもって第 12 回を迎えました。今回のテーマは「AI 時代における医薬品／化粧品のグローバルなセキュリティ」です。技術や知識を駆使する研究開発分野では、AI がこれまでにない強力な開発ツールとなっています。一方で、ディープフェイクの登場など、偽造品の出現を容易にする側面も持っています。医薬品開発を担っている方や、その成果を守ろうとする方々は、AI という両刃の剣の普及に神経をとがらせていることと思います。幸い、政策立案者が目覚めてきており、EU では規制法が採択され、2 年後の施行に向けて進んでいます。日本でも新たな法規制を導入するかの検討が開始され、また、「AI 時代の知的財産権検討会」の議論も始まりました。

このような AI 時代において、高価で、偽物が発見されにくく犯罪者を惹きつける医薬品を犯罪から守るためには、第一に、強力な偽造防止技術、防止対策を講じること、その中には AI を活用した探知法の開発も含まれるかもしれません。第二に、各国当局や国際組織と国境を越えて協働すること、関係組織には世界税関機構（WCO）や世界保健機関（WHO）、国際刑事警察機構（インターポール）、民間組織では製薬防護研究所（PSI）などがあります。そして第三に、何よりも偽造薬が人々の健康と福祉を脅かすものであり、人類の敵であることを国民や世界の人々に認識してもらうことです。

本フォーラムは、2013 年に「偽造医薬品と闘う技術の最前線」というテーマで開始され、偽造医薬品の実態と対策を共有し、偽造防止技術のシーズとニーズのマッチングを図ってきました。主催する医薬品セキュリティ研究会とともに、AI 時代に即応し、皆様の活動の支えとなる会として存続を目指します。今回からは、医薬品同様に「医薬品・医療機器等法」の規制対象となっている化粧品の専門家も参加いただきました。問題と対策を共有し、手を取り合って、一層強力に偽造問題に立ち向かいましょう。また、本年から講演後の技術交流会を復活いたしますので、フォーラム共々、知見の交換や知人の獲得にご活用いただき、ぜひ積極的なご参加をお願い申し上げます。

本フォーラムを実り多きものにするために、皆様の積極的なご参加とともに、各社、各団体におかれましては、何卒第 12 回医薬品セキュリティ研究会フォーラムに対してご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

<医薬品セキュリティ研究会 フォーラムの軌跡>

- 第1回 2013年9月9日  
「偽造医薬品と闘う技術の最前線」
- 第2回 2014年4月18日  
「偽造医薬品と闘う技術の最前線2 ―真贋判定技術に求められる要件とは―」
- 第3回 2015年4月14日  
「医薬品の流通セキュリティの課題と今後」
- 第4回 2016年9月16日  
「グローバル流通する偽造医薬品との闘い」
- 第5回 2017年8月25日  
「安全神話の崩壊」
- 第6回 2018年10月19日  
「止められるか、偽造医薬品と不正流通」
- 第7回 2019年8月30日  
「世界の医薬品セキュリティの動向」
- 第8回 2020年10月23日  
「With コロナの時代の偽造医薬品対策」
- 第9回 2021年8月20日  
「コロナ禍における偽造医薬品の脅威」
- 第10回 2022年8月26日  
「サステナビリティ実現のための偽造医薬品対策」
- 第11回 2023年8月25日  
「ネット社会におけるオークション・SNS等の偽造品/模倣品の脅威と対策」

令和6年7月吉日  
一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会  
代表理事 木村 和子  
金沢大学名誉教授